



今回の講演会は、DBCLSの大学生・大学院生アルバイト(Research Assistant; 以下RA)の皆さんがどのように統合データベースプロジェクトに関わり、ライフサイエンス分野の統合データベース構築・維持・管理に貢献しているかを、実際に働いているRAの発表を中心に理解を深めていただくとともに、提供されているサービスを使いこなすための効率的な利用法について広く知ってもらうことも目的としています。

主催 文部科学省委託研究開発事業「統合データベースプロジェクト」
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構(ROIS) ライフサイエンス統合データベースセンター(DBCLS)

統合データベース講演会

AJACS本郷6

All Japan Annotator/Curator/System DB administrator)

対象 DBCLSのRAとしてアルバイトすることに興味のある方。主に学部生、大学院生を対象にしております。

日時 2010年3月19日(金) 午後1時半受付開始、午後2時～

定員 約24名

会場 ライフサイエンス統合データベースセンター 教室(東京大学工学部12号館4階413,415号室)

費用 無料

申込 事前登録は必要ありません。当日センターまでお越し下さい。途中からの参加も歓迎いたします。

お問い合わせ AJACS1 @ dbcls.rois.ac.jp

<http://bit.ly/togofarm2010>



内容

- * 13:30- 受付開始
- * 14:00-15:00 坊農秀雅「はじめに: 統合データベースプロジェクトとは?」
- * 15:00-15:30 「データベースカタログを維持する仕事」
- * 15:30-16:00 「蛋白質核酸酵素のテキストデータを自然言語処理する仕事」
- * 16:00-16:30 休憩
- * 16:30-17:00 「統合TVのコンテンツを作る仕事」
- * 17:00-17:30 「統合TVのシステムを良くする仕事」
- * 17:30-18:00 「in silicoな実験を広める仕事」

* 18:00- 夜の部